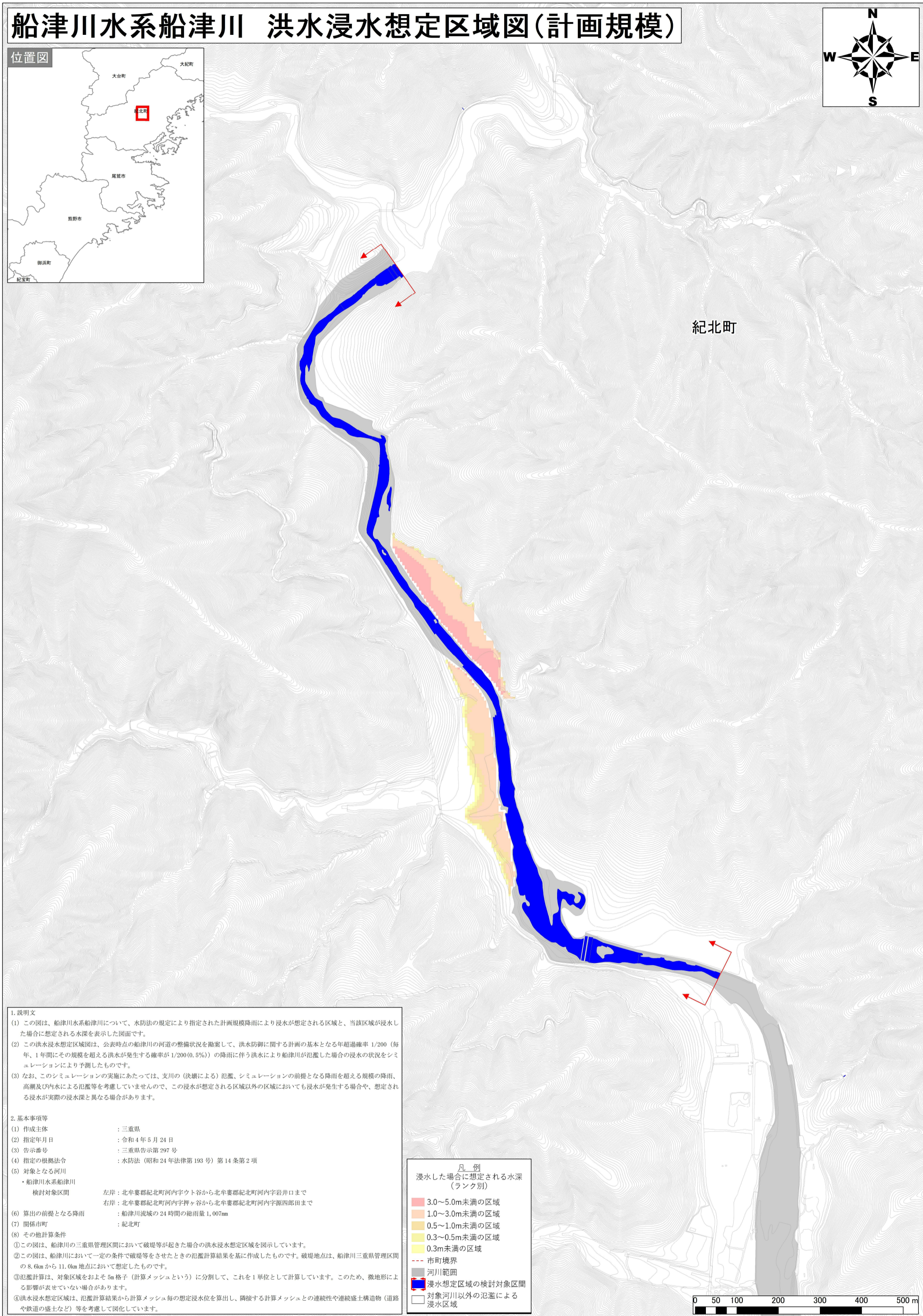
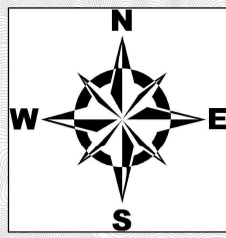


船津川水系船津川 洪水浸水想定区域図(計画規模)



1. 説明文
(1) この図は、船津川水系船津川について、水防法の規定により指定された計画規模降雨により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
(2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の船津川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率 1/200 (毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/200 (0.5%)) の降雨に伴う洪水により船津川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等
(1) 作成主体 : 三重県
(2) 指定年月日 : 令和 4 年 5 月 24 日
(3) 告示番号 : 三重県告示第 297 号
(4) 指定の根拠法令 : 水防法 (昭和 24 年法律第 193 号) 第 14 条第 2 項
(5) 対象となる河川
・ 船津川水系船津川
 検討対象区間 左岸: 北牟婁郡紀北町河内宇ト谷から北牟婁郡紀北町河内宇岩井口まで
 右岸: 北牟婁郡紀北町河内宇押ヶ谷から北牟婁郡紀北町河内宇源四郎田まで
(6) 算出の前提となる降雨 : 船津川流域の 24 時間の総雨量 1,007mm
(7) 関係市町 : 紀北町
(8) その他計算条件
① この図は、船津川の三重県管理区間において破堤等が起きた場合の洪水浸水想定区域を図示しています。
② この図は、船津川において一定の条件で破堤等をさせたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。破堤地点は、船津川三重県管理区間の 8.6km から 11.0km 地点において想定したものです。
③ 氾濫計算は、対象区域をおよそ 5m 格子 (計算メッシュという) に分割して、これを 1 単位として計算しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物 (道路や鉄道の盛土など) 等を考慮して図化しています。

凡例	
浸水した場合に想定される水深 (ランク別)	
3.0~5.0m未満の区域	1.0~3.0m未満の区域
0.5~1.0m未満の区域	0.3~0.5m未満の区域
0.3m未満の区域	
河川範囲	浸水想定区域の検討対象区間
対象河川以外の氾濫による浸水区域	

